

[参考]

CNGの原料費調整制度（平成28年10月分のご請求から適用開始）の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月CNG価格の基準単位料金（CNG1m³当たりの基準単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と、「平均原料価格（料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、CNG1m³当たり0.08748円（0.081円に1.08（消費税率）を乗じた値）を基準単位料金に加減して調整します。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円/t（上限値）を超えた場合、「平均原料価格」は91,600円/tとして基準単位料金を調整します。
- ・ ここで示す基準平均原料価格、基準単位料金および基準単位料金調整額については、平成28年10月分のご請求から適用のTGカード利用約款に基づき、消費税率を8%とする金額を表示しております。

(1) 原料価格の実績 (円/t)

算定期間	平成29年4月から 平成29年6月の平均
平均原料価格	48,420 (a)
LNG	48,110
LPG	51,670
基準平均原料価格	57,250 (b)
差 額 (a-b)	-8,800

* LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。

* 平均原料価格と基準平均原料価格との差額（a-b）は100円未満切捨て。

(2) 基準単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による基準単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

LNG平均価格（貿易統計値） 48,110 円/t × 0.9479

LPG平均価格（貿易統計値） 51,670 円/t × 0.0546

+) _____

48,424.651 円/t

↓ (10円未満四捨五入)

48,420 円/t

■ 原料価格変動額の算定

48,420 円/t

—

57,250 円/t

-8,830 円/t

↓ (100円未満切り捨て)

-8,800 円/t

■ 基準単位料金調整額（m³あたり調整額）の算定

基準単位料金調整額 = -8,800円 / 100円 × 0.08748^{※1}

= -7.70 円 (小数点第3位切り上げ)

※1 変動額100円につき基準単位料金を1m³当たり0.08748（0.081×1.08）円調整します。

(3) 基準単位料金との比較

(消費税込)

年換算使用量 (m^3)	平成29年9月 適用単価 (円/ m^3)	基準単位料金 ^{※2} (円/ m^3)	対基準変動額 (円/ m^3)
5千 m^3 未満	92.48	100.18	-7.70
5千 m^3 以上～1万 m^3 未満	90.32	98.02	-7.70
1万 m^3 以上～2万 m^3 未満	88.16	95.86	-7.70
2万 m^3 以上～3万 m^3 未満	86.00	93.70	-7.70
3万 m^3 以上～4万 m^3 未満	83.84	91.54	-7.70
4万 m^3 以上～5万 m^3 未満	81.68	89.38	-7.70
5万 m^3 以上～10万 m^3 未満	79.52	87.22	-7.70
10万 m^3 以上～20万 m^3 未満	78.44	86.14	-7.70
20万 m^3 以上	78.14	85.84	-7.70

※2 平成28年10月分のご請求から適用のTGカード利用約款に基づく基準単位料金(消費税率8%)を表示しております。